

病診連携

糖尿病治療・管理のあり方

糖尿病患者が良い療養生活を送るためには、適切な管理・治療を継続することが重要である。そのためには、かかりつけ医と専門医^{注)}の連携とともに、看護師・管理栄養士などとのチームによる医療が求められている。

病診連携における患者紹介

■ かかりつけ医から専門医への紹介、および専門医からかかりつけ医への逆紹介の意義と目的

糖尿病による合併症の発症予防には、生涯を通じての治療継続が必要である。専門医による診療が一段落したとき、患者が受診を継続するように、専門医とかかりつけ医の間で十分な連絡をとることが必要である。また、定期的な専門医との連携が必要な場合もある。

1 専門医への紹介状の記載項目

1 紹介の目的

2 これまでに行った治療の経過・内容

食事指導を行っている場合は、どのような指導を行ったのか記載する(1日の食事は何kcalを目標にしたか、など)。

3 糖尿病合併症の検査結果

2 かかりつけ医への逆紹介状の記載項目

1 入院(通院)中に行った治療の経過・内容

薬物療法の内容だけでなく、どのような食事療法を指導したのか、どのような運動療法を指示したのかを記載する。

2 入院(通院)中に行った教育の内容

インスリン治療であればどの製剤・注入器を用いたか、血糖測定器は何を使って指導したかを記載する。また低血糖やシックデイへの対応について、どの程度理解が得られたかを記載する。

3 糖尿病合併症の検査結果

血糖値、HbA_{1c}値の推移等の記載に加えて、合併症についての検査結果も記載する。

注)ここで言う専門医とは主に糖尿病を診療する医師を言う。